

経営比較分析表（令和2年度決算）

石川県白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透I 訓ガ	救 臨 災 地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,504	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

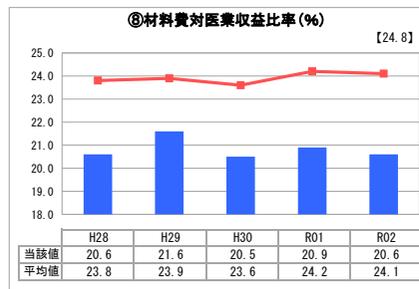
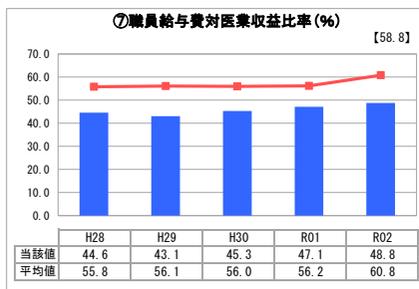
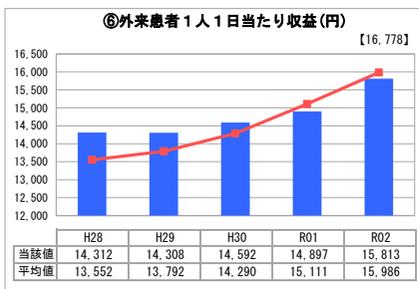
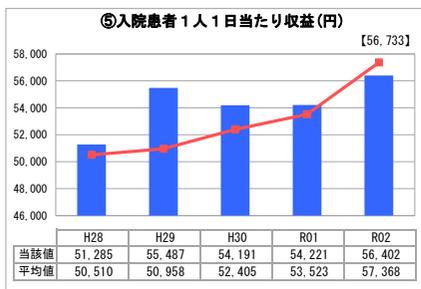
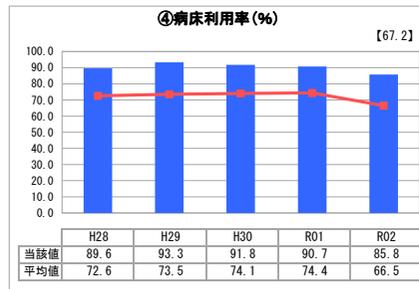
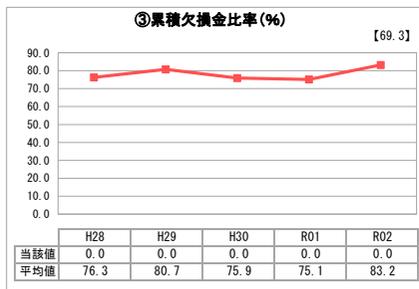
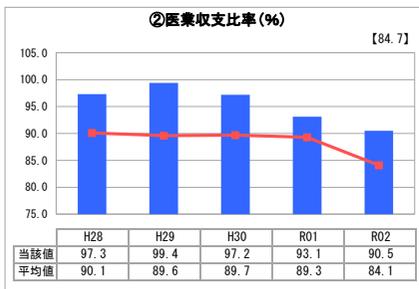
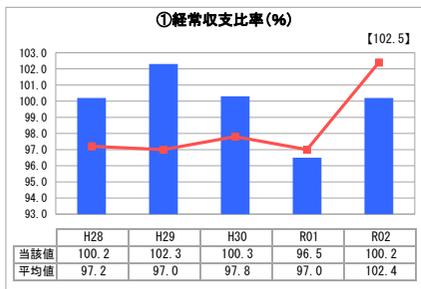
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
275	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
30	-	305
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
275	-	275

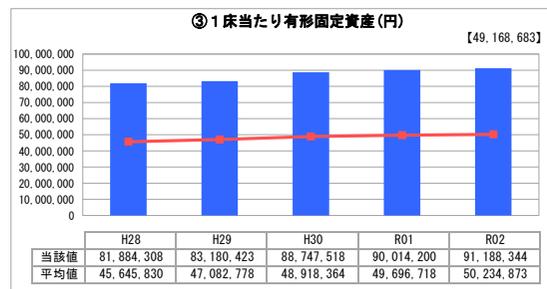
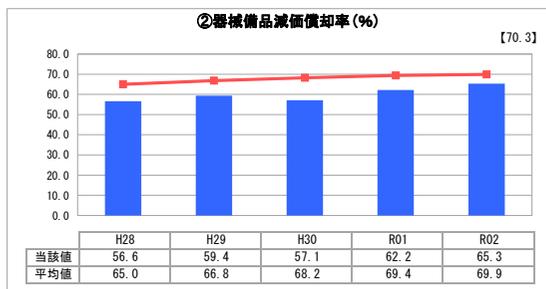
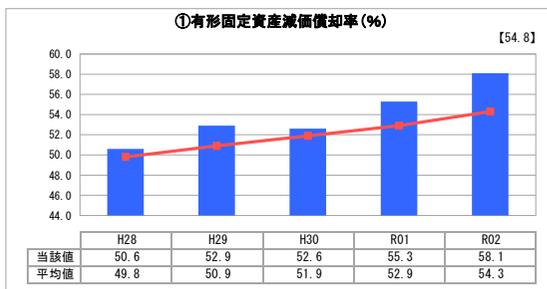
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

周辺には急性期医療を提供する総合病院がないため、救急・小児・周産期・災害・精神などのいわゆる不採算・特殊部門にかかわる医療の提供を行っている。又、この地域の医療・介護連携の拠点的作用も担い、次世代に通じる包括的な医療・介護サービスをコントロールするハブ機能の役割も担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、コロナ禍の影響もあり、補助金の充当により経常収支比率が100%を超えたものの、医療収支比率が90.5%、病床利用率が85.8%となり、厳しい経営状況であった。累積欠損金は無い。

また、1人1日あたり収益では、入院、外来ともに過去5年で最も高い収益であったが、類似病院の全国平均を下回っている。経費的には職員給与対医療収益比率および材料費対医療収益比率は全国平均を下回っており経費節減に努めている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は年々増加しており老朽化が進む傾向にある。また、器械備品減価償却率が全国平均より下回っており、比較的機械備品については新しいものが多い傾向がある。また、1床あたりの有形固定資産が全国平均の1.8倍と大きい。これは、当院より半径4km圏内には100床以上の急性期病院がなく、305床という中規模施設でありながら、地域の中核病院としてPET-CT、サイクロトロンをはじめ手術支援ロボットや心臓専用SPECTなど高度医療機器を導入しているためと思われる。しかしながら、新しい高度医療機器の導入が照会患者と収入の確保につながっており、適切な投資の範囲と考える。

全体総括

コロナ禍により、厳しい経営環境が続く中、今後も地域の中核病院として必要な医療を提供し続けるために、更なる経営の健全化・効率化に取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。